

## 陽風語録

一回きりの人生劇場  
それを演じられる主役は  
世界中でたった一人きりのあなたです。



奥理事長と在宅事業推進局開設メンバー

## にほひぐさ

理事長 奥

清

「にほひぐさ」(梅)は、今は亡き暁鳥 敏先生のお歌です。暁鳥先生は明治十年のお生まれです。郷里の出城村字北安田(現白山市)明達寺の住職をお勤めになり、全国はもとより国外までも布教活動を続けられ、昭和二六年 東本願寺 宗務総長にられました高僧でいらつしゃいます。先生の生きる序歌の中から、感銘を受け忘れられない歌を紹介いたします。

先生は、自然に目を向けられ、自然の中から歌心を求められ、私達に人生の道しるべをお示しになっておられます。

”にほひぐさ”  
いそいと めをふきて いきいきと はのびる  
ちからある にほひぐさ とこしえに あをあと  
あめつちに ただひとり しづやかに いきていく  
あらそはず おかさねず うらやまず かなしまず  
しとやかに もへいづる わがにはの にほひぐさ  
そのはなの たかきかに ひかるよを だきつつむ

清楚で気品高く 早春有花に先がけて咲くにほひぐさ(梅)の花を詩歌にうたわられています。決して、浮かれることなく、花に心よせられ、学ばれる先生のお心を、わが心にも、そして職員諸氏の心にも……と思いつつ……。

## 就任にあたって

### 就任ごあいさつ

万陽苑施設長

山田 菊二



この4月1日付  
けで万陽苑の施設  
長として「陽風一  
家」の仲間入りを

させていただきました。歴史と伝統のある陽風園の職員になれましたことを誇りに思うと同時に責任の重大さに身の引き締まる思いでございます。還暦を迎えた新入職員ですが、新たな職場で心機一転張り切っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。私は、永年勤務した金沢市役所を3月末に退職しました。在職中は、福祉部門にも携わっていましたので、その経験を活かして微力ではございますが、より良い万陽苑になるよう努力をしてみたい所存でございます。

さて、就任した翌日に横山専務が見えられ、「小野太三郎伝」(平成三年発行)を持ってこられました。この本は、陽風園の創始者で日本の社会福祉の草分けと

## 就任ごあいさつ

あけぼの作業所施設長

中川 寿一



この春の異動であけぼの作業所を担当させて頂くことになり、大変重責を感じながらも、微力ではございますが鋭意努力していきたいと思っております。

当作業所の建物内は、作業所として改修されていながらも、前身の若葉ホーム曙寮の面影が少なからずとも残っており、今から30年近く前、若葉ホームの指導員であったころを思い出されます。当時、入所されていた方も数名通所されており、声をかけられた時には大変懐かしく感じられ若葉ホーム時代の記憶が蘇ってきます。そのころの福祉関係予算も増額の一途であり安定した措置の時代でもありました。

しかしその後、障害者に関する施策は、平成15年4月に「支援費制度」の導入が決まるなど、従来の措置制度から大きく転換しました。

ところが、「支援費制度」の導入によってサービス利用者が急増し、国と地方自治体の費用負担だけではサービス利用に對す

る財源確保が困難になり結果的に避けようがない格差が生じてしまいました。

こうした制度上の問題を解決し、全ての障害者の方も地域で安心して暮らせる社会を実現する名目で平成18年4月1日「障害者自立支援法」が施行されました。しかし、不完全な制度改革として本来の福祉の精神が失われた、もっぱら財政本位を重点としたものと批判されています。結局、昨年8月に誕生した、新政権によって廃止されることになり、その代わりとして新たに障害者制度の構築に向け、「障がい者制度改革推進会議」を設けてその内容が検討されていくことになりました。

しかし私たちには、その全体像はまだ不明な点も多く、情報も断片的なために、なかなか身近に感じる事ができないのが現状です。将来像がよく見えないなかで、廃止となる法律に縛られたまま旧体系から新体系へ移行しなければならず、現場としては運営的にも混迷が深まるばかりです。

こうした状況ではありますが、利用者の皆さん一人ひとりが、日々豊かな生活を実感でき、より充実した人生が送れるよう支援していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

# 就任にあたって

## 就任ごあいさつ

在宅事業推進局長

室野慎一



4月から在宅事業推進局を担当することになりました。今年度からの新たな取り組みとして位置づけられた事業を担当することになり、身の引き締まる思いです。

昭和53年に陽風園に勤めてからその多くの期間を事務局で過ごしてきました。介護保険前夜から事業を徐々に拡大してきた在宅サービスが、法の施行と同時に介護の大きな部分を担うようになってきたことを、会計担当者の眼で見えました。今回在宅事業推進局を担当して、高齢化の進展と課題の大きさ、それを支える在宅サービスの拡大と多様さに驚いています。特に新しい事業者はその事業体も若いのももちろん、従業員も若く、事業運営の方法も従来とはかなり違うように見えます。

在宅事業推進局は、居宅介護支援事業と平成17年開設の木越デイサービスセンター、平成18年開設のお年寄り地域福祉支援

# 再びこの任をいただきました

事務局次長・施設整備準備室長

大森 万寿夫



陽風園に勤めて三十一年、再び施設整備に関わることとなりました。

知的障害、高齢者福祉に関するスタッフとして自分なりに充実した日々を過ごしていた平成二年、法人課（現在の企画調整課）勤務を命ぜられました。平成三年、前理事長安田隆明先生が就任され、以後、第三万陽苑設置、ハビリポート若葉設置、あけぼの作業所設置、向陽苑大部屋解消、万陽苑大部屋解消、みずき保育園設置、木越デイサービスセンター設置等の事業に携わりました。

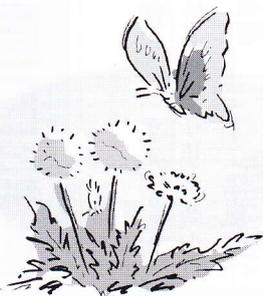
今後は、高齢社会、少子社会、格差社会、経済活動の低迷、財政赤字問題等から、自助自立が極めて厳しい社会情勢になることが予測され、福祉サービスへの期待は高まるばかりです。しかし、同じ理由から福祉サービスの提供体制は弱体化しつつあります。「私たちの信条」を基本としつつ、効果的な経営システムの実現が求められます。将来の福祉サービス提供体制を想定しながら、それを支える環境造りに心掛けたいと思っております。

センターみつくちしんまちを担当しています。いずれも140年近い陽風園の歴史の中では最も新しい事業に属するものです。もうひとつの共通点はどの事業も高齢者の在宅生活を支える事業であることです。

高齢者が住み慣れた家や地域で生活したいという願いにこたえるために、介護保険事業を始め様々なサービスや仕組みが準備され整備が進められています。それに勝る速さで高齢化が進行しています。認知症高齢者や高齢者のみの世帯の増加など課題はむしろ大きく且つ複雑なものになっていきます。

陽風園は創設以来、常にその時代の要請に即した事業を展開してきました。今後の更なる高齢化の進展を考えると、改めてその中で果たすべき役割が問われていくと思います。伝統を引き継ぎ、更に新たな伝統を作りだしていきけるよう、先行する事業に学びながら、また協力を得ながら、力を尽くしていきたいと考えています。よろしくお願いたします。

再び、この任をいただきました。多くの方々のご支援を賜りながら、平成二十五年度の陽風園百四十周年の場で、最初の形をお示しし、



# 園 だ よ り

## 在宅事業推進局

### スタート

少子・超高齢社会はもはや国民全体に深く認識されるところとなっており、介護保険制度などが、理想的な形で維持継続され、日常生活圏に必要なサービスが充足し、介護予防・認知症対策も進み、高齢者は住み慣れた地域で適切な支援を受けながら安心して生活を送ることができるよう。「自助・互助・共助・公助」それぞれの社会資源が、有機的に連動し円滑に提供される、そういう地域包括支援システムのもとで、我々は近い将来、輝かしい老後を迎えることができるのだろうか……！

思えば、農村で生まれ育った自分の少年時代、ゲーム機もVTRもなく、学校のグラウンドで野球をするか空き地で缶けりをやる。ふざけて塀に駆け上がり屋根で遊ぶと近所の強面のじいさんに叱られる。田植え・稲刈り・野菜の収穫……夏休みもゴールデンウィークも遊興した記憶もなく、ウムを言わずに手伝いしたものだ。母屋である我が家には親戚一同が農繁期は手伝いに来た。水田に十人余が列を成して田植える風景の何と爽快なことである！自分のDNAに織り込まれたのはドイツニerlandの電飾鮮やかなパレードではなくこんな風景の画ばかり！

向いの保育園に住んでいた？  
母は我が家に風呂をもらいに来ていた。近所の家の主人が農繁期に亡くなると、村の班で作業を分担して手伝った。年寄りは、農作業でも腰掛けて苗を取ったり、体力相応の作業があったものだ。

こんな生活が昭和三十年代の農村にはあった。「自助・互助・共助・公助」という関係が図らずも見て取れる。科学技術・文化・産業共に発展・成長途上で、我々は無責任に大きな純粋な夢を抱くことができ、それぞれ自律的に自立し、役割を分担しながら、「前進」を目指し活気のある時代だったのではなからうか。

その頃に漠然と思い描いた未来と現在の国の描いている将来にはややギャップがある。我々の老後を考えると、用意周到に張り巡らされた制度の中で、生きがいを見つけ、夢と刺激のある創造的な共同体になってほしいものだ。

この局は、地域福祉支援センターと四カ所の生活支援センターと木越デイサービスセンターがひとつの局としてスタートしたものです。とりあえずはそれぞれの事業の充実と園の在宅サービスの事業展開などについて研究・取り組んでいくこととなります。

# 施設だより

## 向陽苑

### 散策

向陽苑では、今年度より歩こう会を改め、散策クラブを発足することとなりました。

昨年までの歩こう会では、雨天中止となることが多く利用者の方々の残念がる姿が見られましたが、散策クラブでは、毎回目的地を決め、晴れた日は、季節感を味わってゆっくり歩き、ふれあいながら心の交流もできたりいいなと思います。また、雨天の時、ドライブで近くの体育館などを利用し、体を動かせる活動してみたいと思います。初の試みなので、試行錯誤しながら、利用者の方々のリフレッシュの一時となるよう活動していきたいです。



# 陽風園日誌

2月

紫乃枝の会舞踊ボランティア

南小立野小学校ふれ愛りサイクル (陽風園)

節分祭

ゲーム大会 (各施設)

マッサージ (向陽・特養三施設)

介護ネットワーク委員会 (特養三施設・診)

石川県知的障害者福祉協会

ボウリング大会 (ハビリ・あけぼの) (向陽)

料理教室 (向陽)

未就園児とお父さんのあそぼう会 (みずき)

卓上献立 (万陽・第二)

家族介護者教室 (万陽デイ)

いきいき健康支援 (第三デイ)

石川県スポーツ協会カローリング大会 (ハビリ)

菊川・つつじが丘・内川・崎浦・大桑団地・十一屋健康づくり教室 (地域福祉)

作業収益還元旅行 (三陽)

保育参観 (みずき)

ごっこあそび (みずき)

入園説明会 (みずき)

法話ボランティア (木越デイ)

# 施設だより

## 万陽苑

### 花見ドライブ

4月6日に毎年恒例の花見ドライブに行つて来ました。昨年、一昨年と金沢城公園に行つていたのですが、今年は開花が遅く、気温も低めだったため、花開く桜を求めて、犀川沿いの桜並木と兼六園の桜を見て来ました。

事前の天気予報では当日も含め前後とも雨。車窓からの花見しか出来ないのかなと諦めていましたが、ありがたいことに日が近付くにつれ天候も回復。当日は快晴とはいきませんでしたが、うす曇りの中にも時折晴れ間が見える穏やかな日和となり、(残念ながら満開ではありませんでしたが、)ほぼ満開(8分咲き)の桜を見ることが出来ました。利用者の中には桜の開花状況を逐一チェックしている方もいて、予想外の開花と日和に「誰の所為かしらねえ」と笑顔で話されていました。

誰しもが桜の花には思い出があるかと思えます。その思いを大切に、今後とも皆さんに喜んでいただけるよう企画していきたいと思えます。

## 第二万陽苑

### 誕生会

今年度から毎月の誕生会に、誕生者のご家族も参加いただき、一緒にお祝いしてもらえようにと企画したところ、家族会の方から、最近入居された方のご家族にも家族会の活動を知っていただき、その輪を広げるためにも、誕生会もお手伝いをさせて欲しいとの申し出がありました。施設としても大変有り難くご協力をお願いすることとし、4月15日の誕生会では、利用者のご家族、それに家族会の役員の方と三者で誕生祝いをする事が出来て、誕生者の方には大変喜んでもらえたと思つています。

また、最近入居された方のご家族にとつては、家族会を身近に感じていただくよい機会ともなり、終始和やかな雰囲気で行うことが出来ました。

今後家族会のご協力を得ながら、利用者の方々にご家族と共に楽しんでもらえるような誕生会を企画していきたいと考えています。

## 第三万陽苑

### 日本財団助成の福祉車両「ハイエース」

二月二十四日、十五年余りデイスの送迎に貢献してきた福祉車両に変わり、日本財団からの助成を受けて新しい福祉車両「ハイエース」が納車されました。

この車両は、車椅子二台と座席四名分の確保が可能であり、計六名の利用者の方々が乗車する事ができ、毎日の送迎や行事に大活躍しています。

この車両の一番の魅力は、乗り心地の良さです。以前の車両に比べ振動や揺れは少なく、安心して乗車する事ができ利用者の方々も大変喜ばれています。また手すりの設置・車椅子の固定やリフトの操作性の使いやすさに加え、安全性も格段に高くなっています。

これからも、利用者の方々が安心して乗車できる走行に努め、以前の車両以上に、いつまでも大切に使用していきたいと思えます。

## 3月

理事会・評議員会

交通安全ホワイイトデーアドバイス (陽風園)

ひな祭り喫茶 (各施設)

石川県知事選挙不在者投票 (老人四施設・三陽)

マッサージ (向陽・特養三施設)

介護ネットワーク委員会 (特養三施設・診)

卓上献立 (向陽・万陽)

ゲーム大会 (向陽)

石川県障害者スポーツ協会ボウリング大会

石川県福祉施設卓球大会 (ハビリ・あけぼの)

菊川・つつじが丘・内川・崎浦・大桑団地健康づくり教室 (地域福祉)

デザートバイキング (第二)

二水高校吹奏楽部来訪 (第三)

作業収益還元旅行 (三陽)

茶話会 (ハビリ)

アカシア民舞 明の会ボランティア (木越デイ)

追い出し餅つき

新入園児ふれあい

お別れ会・卒園式 (みずき)

# 施設だより

## 三陽ホーム

### 余暇支援

今年のゴールデンウィークは天気にも恵まれ、遠くに足を運ばれた方も多いのではないのでしょうか。

普段は作業等に精を出す三陽ホームの入所者の皆さんもお休みになり、大型連休を日常と違う雰囲気楽しんで頂くため『余暇支援』を行っています。内容はいくつかのグループに分かれ、外へ焼肉やお寿司を食べに行ったり、ファミリィレストランで食事とおしゃべりを楽しんだり、また、ゆっくりショッピングをしたりと多種多様です。焼肉を食べに行かれた方からは「肉の焼ける音がたまらん！」と満足頂けたようでした。

また、これから色々な企画で楽しんでいただけるようお手伝いできたらと思います。



## ハビリポート若葉

### 卓球大会

3月6日、金沢市総合体育館にて開催された第44回石川県福祉施設卓球大会に利用者3名、職員3名の計6名が参加しました。

利用者の方は、皆さん1カ月間におよぶ練習を積み、昨年果たせなかった決勝トーナメント進出を目標に頑張ってきました。特に選手の1人は外出時にマイラケットを購入し、毎日休まず誰よりも早く体育館へ来る熱の入りようでした。

そういった熱い気持ちを汲みながら、練習時より皆で話し合ってきたことは、「勝ち負けも大事かもしれないけど、終わった時に楽しかったと思えることもすごく大切なことだから、とにかく笑顔で頑張りたい」というものでした。



開会式と準備体操が終わり、いよいよ競技開始。まずは個人戦から始まりました。決勝トーナメントへ進むためには2戦2勝が絶対条件であり、昨年は3名とも1勝1敗という結果でした。

さて、今年は、男性2名が惜しくも決勝トーナメント進出の切符を逃してしまつた中、女子の部において1名が見事勝ち進み、終わってみれば準優勝という素晴らしい結果を残しました。午後からの団体戦では男性陣も奮闘し、見事1勝を挙げる事ができました。

日頃から話してきた通り、皆それぞれに楽しく充実した時を過ごしてくれたことが何より大きな白星なのではないかと思えてなりません。また、職員の部においては、男女とも個人戦準優勝という結果であったこともお伝えしておきます。

3名の利用者の方々は大大会終了後に早くも「来年もつと頑張るぞ」と第45回大会に向けて決意を固めていました。そんな皆さんの思いを受けて、来年も元気な姿で参加してもらえよう、日々の支援にもより一層精進せねばならないと改めてこちらが刺激を受けた1日となりました。



## 4月

職員辞令交付・初任職員研修会

物故者追悼法要

定期健康診断

白鳥の会ボランティア (陽風園)

花見・花見喫茶・花見ドライブ (各施設)

マツサージ (向陽・特養三施設)

介護ネットワーク委員会

卓上献立 (特養三施設・診)

木越デイサービスセンター利用者のみずき保育園児との交流会 (万陽)

菊川・つつじが丘・内川・崎浦・大桑団地・十一屋健康づくり教室 (地域福祉)

たけのこ祭り (第二)

地域清掃ボランティア (第二)

全体レクリエーション (三陽)

桜の香り湯

木越吟詠会ボランティア

津軽三味線明宏会

「津軽シニアーズ」ボランティア (木越デイ)

保護者総会 (あけぼの)

入園式・進級式 (みずき)

子どもの日の集い

施設だより

あけぼの作業所  
送迎バスにて

あけぼの作業所では朝夕送迎バスを走らせています。



コースは、  
園↓笠舞↓  
猿丸↓思案  
橋↓兼六園  
下↓武蔵↓  
野町↓平和町↓園で、約25名の方が利用されています。

朝、皆さんの「おはよう」の声に私たちも元気が出てきます。武蔵辺りになると、車内の座席はほぼ満席となり、それは賑やかです。入院時の事やあけぼのでの事、休日の事etc様々な話が飛び交い、時には冗談で盛り上がります。帰りも出発時はわいわいがやがや賑やかですが、一人減り二人減り徐々に静かになっていくと、今日も一日無事に終わったなと感じます。

これからも利用者の皆さんにとって、楽しい環境、活気のある場所となるよう支援していきたいと思えます。

みずき保育園  
縦割り活動

みずき保育園では異年齢での関わりを大事にしており年間の活動の中にも多く取り入れるようにしています。その中でも21年度は3〜5歳児で取り組む縦割り活動で「お店屋さんごっこ」を展開する事になりました。まずはどんなお店屋さんをやりたいか子ども達に聞いてみるという案が出てきました。どのお店にするか決められない時にはどうすればいいのか？お店が決まったら、お店には何が必要か？どんな仕事なのか等々自分たちで考え、決めなければならぬ事がたくさんありました。ですが、できるだけ子ども達の思いを尊重しながら形にしていき取り組む事一ヶ月。どのお店屋さんも子ども達の思いやアイデアがたくさん詰まった素敵なものとなりました。そして当日は売り手側と買い手側、どちらも楽しんでいる姿が見られ、子ども達にとってもいい経験になったと思えました。またこの活動を通して感じた事・学んだ事を活かして取り組む22年度の縦割り活動ではどんな姿が見られるのか楽しみです。

入園者の変動状況 (2月~4月)

施設名	入園者数 (5月1日現在)	入 所	退 所
向 陽 苑	237	4	3
万 陽 苑	174	20	28
第二万陽苑	150	10	5
第三万陽苑	142	14	21
三陽ホーム	101	0	4
ハビリポート若葉	203	2	2
あけぼの作業所	42	0	0
みずき保育園	180	34	30
診 療 所	14	24	20
合 計	1,243	108	113

在宅サービス利用状況 (2月~4月)

施設名	事 業	延人数
万 陽 苑	シ ョ ー ト ス テ イ	290
	デ イ サ ー ビ ス	789
	ホ ー ム ヘ ル プ サ ー ビ ス	259
	配 食 サ ー ビ ス	256
	移 送 入 浴 サ ー ビ ス	6

施設名	事 業	延人数
万 陽 苑	居宅介護支援事業(2~3月分)	305
	お年寄り地域福祉支援センター	745
木 越	予 防 プ ラ ン(2~3月分)	385
	介 護 相 談(2~3月分)	506
第二万陽苑	デ イ サ ー ビ ス(2~3月分)	67
	居宅介護支援事業(2~3月分)	430
	シ ョ ー ト ス テ イ	225
第三万陽苑	ホ ー ム ヘ ル プ サ ー ビ ス	135
	居宅介護支援事業(2~3月分)	961
	シ ョ ー ト ス テ イ	640
ハビリポート若葉	デ イ サ ー ビ ス	151
	居宅介護支援事業(2~3月分)	37
在宅事業推進局 (4月)	シ ョ ー ト ス テ イ	0
	日 中 一 時 支 援	1,246
陽風園生活支援センター	グループホーム知的障害者共同生活援助事業	300
	お年寄り地域福祉支援センターみつくしんまち	372
	予 防 プ ラ ン 介 護 相 談	236
	木越デイサービスセンター	271
	木越生活支援センター	35

# 感謝録

2月～4月

(順不同・敬称略)

## ボランティア

- 紫乃枝の会 (金沢市)
- ボランティアグループ白鳥の会 (金沢市)
- PL南教会 (金沢市)
- キリスト教会 (金沢市)
- ひまはりの会 (金沢市)
- アカシア民謡 明の会 (金沢市)
- 二水高校吹奏楽部 (金沢市)
- ひだまりグループ (金沢市)
- カトレアの会 (金沢市)
- 葉月の会 (金沢市)
- 小西さんグループ (金沢市)
- 合歓の会 (金沢市)
- 三色すみれの会 (金沢市)
- 新畑ミュージック企画 (金沢市)
- 安岡 龍男 (金沢市) 勝尾外美子 (金沢市)

- 村尾 和子 (金沢市) 高窪千寿子 (金沢市)
- 朝倉 薫 (金沢市) 福島 愛子 (金沢市)
- 松浦 由依 (金沢市) 古本 季奈 (金沢市)
- 清水 浩司 (金沢市) 石津 博之 (金沢市)

## 寄附物品の部

- (株)加賀麩不室屋 (金沢市)
- (株)加賀麩司宮田 (金沢市)
- 金沢中女性ドライバークの会 (金沢市)
- 押野校下婦人会 (金沢市)
- 麩中 (金沢市)
- (有)多賀商店 (金沢市)
- 宮嶋 徳行 (金沢市) 宮川 光恵 (金沢市)
- 中村孝一郎 (金沢市) 黒崎 浩 (金沢市)
- 夏嶋 正征 (金沢市) 山本 (金沢市)

## 寄附金の部

- (株)福祉施設共済会 (東京都)
- 崎浦ボランティアの会 (金沢市)
- あけぼの作業所保護者会 (金沢市)
- 千寿閣社交ダンス愛好会 (金沢市)
- 村中 伸治 (金沢市) 新谷 俊昭 (金沢市)
- 山田ヨシ子 (野々市町) 鈴木 千鶴 (岡崎市)
- 宮川 光恵 (金沢市) 鶴城美智子 (横浜市)
- 中村孝一郎 (金沢市) 小西 和子 (金沢市)
- 木下 武夫 (珠洲市) 寺井 俊昭 (金沢市)
- 斉藤 正彦 (金沢市) 井上美津子 (羽咋市)
- 永井 博子 (金沢市) 浅田 (金沢市)

その他匿名 三十二名

ご厚意ありがとうございました。